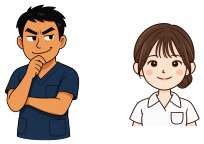
坂コー先生のICU 1枚まとめ No.3

Aラインの血圧が急に下がった！

――数字を信じる前に確かめる3つ

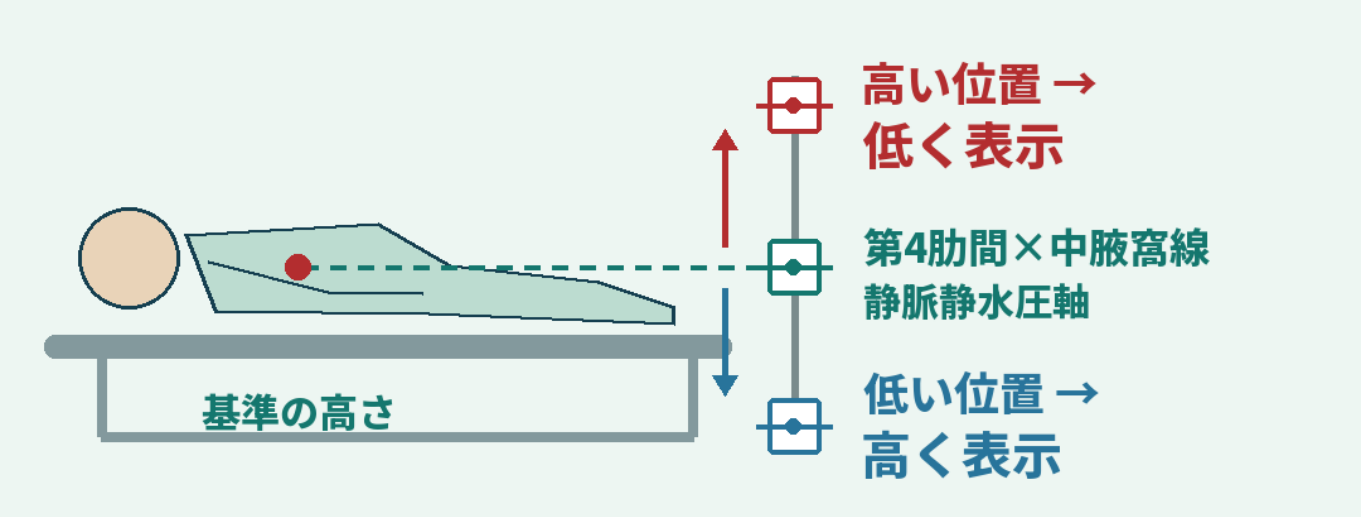


① 患者さん

顔色・意識・皮膚・脈。様子が数字と合っているか
（急な変化があるときは、確認を待たず報告）

② トランスデューサーの高さ

基準は第4肋間×中腋窩線（静脈静水圧軸）［1］



高い位置にある → 血圧は低く表示される
低い位置にある → 血圧は高く表示される
リハビリ・体位変換・ベッドの高さを変えたあとは、必ず見直す

③ ゼロ点と波形

高さを合わせたら、施設の手順でゼロ点を確認［1］
なまる（過減衰）→ 収縮期↓ 拡張期↑／はねる（減衰不足）→ 収縮期↑ 拡張期↓［1］

なまりの原因の例：加圧バッグの圧不足、気泡、血の塊、接続のゆるみ、折れ曲がり［1］

数字と患者さんが合わないときは、報告してチームで確かめる

学習用のまとめです。実際の測定・校正は医師の指示と施設の手順で。急な悪化は確認を待たず報告を。

[1] Saugel B, et al. Crit Care. 2020;24:172
[2] Romagnoli S, et al. Crit Care. 2014;18:644

坂コー先生（急性・重症患者看護専門看護師）／2026年11月17日

https://ns-sakaki.com/2026/11/17/arterial-line-vs-cuff-blood-pressure/

もっと詳しく：書籍『ICU1年目ナースが先輩からよく聞かれること』（照林社・2026年11月28日発売）